

令和8年度 教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号 17 学校名 羽島高等学校

社会的役割等 (スクール・ミッション)	地域と連携・協働した学びを推進する地域密着型の高校として 社会的な基礎力や創造力を身に付ける教育活動を通して 知・徳・体の調和のとれた人間性豊かで、地域の未来に貢献できる人材の育成を目指す学校	
学校教育目標 (教育方針)	地域密着型の高等学校として、家庭や地域社会と連携し、社会的な基礎力・創造力を身に付けることにより、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かで、地域の未来に貢献できる人材を育成する	
3つの方針 (スクール・ポリシー)	どんな生徒を 育てたいか 【GP】	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な知識・教養を身に付け、現代社会における自分の意見や考えをしっかりとつことのできる生徒 ・TP0に応じたマナーを身に付け、他を思いやり、爽やかな挨拶を交わせるなど、望ましい人間関係が築ける生徒 ・地域の一員としての責任を自覚し、羽島市を中心とする地域社会の未来の創造に積極的に参画できる生徒
	生徒をどう 育てるか 【CP】	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインを取り入れた授業改善に取り組み、生徒の興味・関心を喚起する生徒参加型の授業の実践 ・地域社会における信頼と期待に応えるために、身だしなみに対する意識や相互協調性を高める指導の継続 ・探究的な学びや各種検定への挑戦・資格取得等を通して、学習に対する意欲を喚起させるとともに、進路（進学・就職）に対する意識を高め、進路実現を図る
	どんな生徒を 待っているか 【AP】	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な学力を身に付け、本校の学習によってより専門的知識・技術を身に付けることにより、未来に向けて社会の発展に貢献したい生徒 ・生徒会・Sクラブ・その他部活動を中心とした奉仕活動や地域活動への積極的な参加により、豊かな人間性と個性の伸長を図ることができる生徒 ・高校生活を通して、自分の将来について真剣に考えることができ、挨拶や他者への配慮など社会的なマナーを身に付け、羽島市を中心とする地域社会で活躍したい生徒
学校の抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校段階までに基礎学力の定着が十分でない生徒が多いため、学び直しも含めた基本的な学習習慣を定着させること ・多様な生い立ちや家庭状況を背景に抱える生徒が多く、その中で日本の現代社会における基本的生活ルールやマナーを習得させること ・自己肯定感や自己有用感が低い生徒が多いため、個々の価値を見出させ社会で活躍できる自信を持たせること ・羽島市など地域社会や地元企業からの期待が大きい中で、地元中学校や中学生に本校の良さを十分に伝えていくこと 	
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標
	学習指導	基礎学力の定着と探究的な学びの推進により、生徒の特性や多様な進路希望実現に相応しい学力を育成します
	生徒指導	地域社会の一員として、自信と自覚と自らの行動に責任がもてるよう社会における規範意識を育てます
	特別活動	課題探究に取り組み、地域活動やボランティアに積極的に参加させることで、地域の課題解決を図れる豊かな人間性と個性の伸長を図ります
	その他	生徒と教職員の相互が「心理的安全性」を感じられるような学校を目指し、教職員の勤務時間管理の徹底と勤務時間を意識した働き方を推進します

年度目標				年度末評価(自己評価)			
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的な取組・方策	県教育振興 基本計画での 位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合 評価 A. B. C. D
学習指導	生徒の特性や多様な進路希望に応じた学びを推進し、ユニバーサルデザインの視点で授業改善を進めます	施策Ⅱ-8	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価アンケートにおいて、学習指導に関する項目の肯定的評価が80%以上 ・各種検定の受験者数・合格者数・合格率の向上と進路未決定生徒の減少 				
	タブレットやICTの活用等を通して、個別最適な「学び直し」の機会や探究活動の機会を設けます	施策Ⅱ-9					
	各種検定への挑戦・資格取得を通して、専門性の高い知識・技能を身に付けさせます	施策Ⅱ-11					
	学習に対する意欲を喚起し、進路に対する意識を高めさせることで進路実現が叶うよう支援します	施策Ⅱ-13					
生徒指導	授業規律の遵守など基本的学習習慣を身に付けるためのルール指導を継続します	施策Ⅳ-23	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価アンケートにおいて、生徒指導に関する項目の肯定的評価が80%以上 ・遅刻の経年比較、遅刻総数減少 ・いじめ認知件数および解消に至る経緯の検証 				
	地域社会における信頼と期待に応えるために、身だしなみに対する意識を高める指導を継続します	施策Ⅰ-1					
	社会性指導の一環として、遅刻指導を段階化し、遅刻数減少を目指します	施策Ⅰ-7					
	「迷惑・いじめ調査」や教育相談等の実施を通して、生命の尊重やいじめ、迷惑行為の防止指導を徹底します	施策Ⅰ-3					
特別活動	部活動加入を推奨するとともに積極的な参加を促し、人間性を養う場としての部活動の充実と活性化を図ります	施策Ⅳ-25	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の加入率・定着率の向上 ・各種地域活動実績(参加人数・イベント数)の検証 ・生活実態アンケート「学校に対する気持ち」の検証 				
	生徒会・Sクラブ・部活動等を中心に、奉仕活動の充実と地域活動への積極的な貢献を推進します	施策Ⅰ-5					
	HR活動・学校行事等を通して生徒自身が個性を伸長しつつ、良好な人間関係を構築できるよう支援します	施策Ⅰ-2					
	探究的な学びの場を地域に広げ、地域課題の解決に貢献できる人材づくりを目指します	施策Ⅰ-4					
その他	校務のDX等を通して、教職員の業務内容の見直し・改善を図ります	施策Ⅳ-27	<ul style="list-style-type: none"> ・時間外在校時間が月45時間年360時間を超える教職員ゼロを目指す ・出退勤簿の確実な打刻とその検証 ・学校評価アンケートにおいて、家庭との連携に関する項目の肯定的評価が80% ・職員に対する働き方改革に関するアンケートの実施 				
	勤務時間管理の徹底と勤務時間を意識した「心理的安全性」を感じられる働き方改革を推進します	施策Ⅳ-28					
	HPの充実やメール一斉配信の活用にも努め、多様な背景を持つご家庭等とも有益な情報共有に努めます	施策Ⅳ-22					
	本校の地域連携の取組を地域社会に理解いただくため、地域社会やメディア等への情報提供を積極的に行います	施策Ⅳ-20					

来年度に向けての改善方策等

実施日：令和9年 月 日

学校関係者評価

実施日：令和9年 月 日